

2020年2月27日

ECC 日本語学院 名古屋校

新型コロナウイルス感染症の流行による当校の対応方針について

新型コロナウイルスの感染症の報告が、日本をはじめとして世界各地から続いており、名古屋市におきましても、感染者が確認されております。

当校では、中国からの入国者や既に感染が確認された人物と接触した可能性がある者には自宅待機措置をとり、また校内のアルコール消毒、教室の換気、教職員のマスク着用等対応をしております。

この先感染が拡大した場合に備え、今後の対応策を話し合い、以下の通り方針を決定しましたので、お知らせいたします。

尚、今後の状況に合わせ、時機を逸せず、柔軟に対応していきたいと考えております。ご理解・ご協力をお願いいたします。

記

1. 2020年3月23日までは年間スケジュール通り、授業を実施する。
2. 校外学習は中止とする。
3. 卒業式は実施する予定だが、感染拡大の状況を見て、中止も検討する。
4. 本校関係者から感染者が出た場合、ただちに休校とする。
また、感染拡大の状況を見て、今後休校等の措置も検討する。
5. 教職員、学生ともに37.5℃以上の熱がある者は登校・出社させない。
また、体調が悪い場合は学校を休むことを徹底させる。
6. 感染が心配な学生は、自宅待機をすることを認める。
ただし出席率は通常のルール通り減算とするが、学校は今後提出する出席証明書に、本方針に則った欠席である旨を、理由として記載する。
7. 毎日2回次亜塩素酸を使っての机やドアノブ等の消毒、休憩時間の教室の換気を徹底する。

以上